

県立大学姫路工学キャンパス旧1号館、旧3号館外基礎部分解体撤去業務 (電気設備)

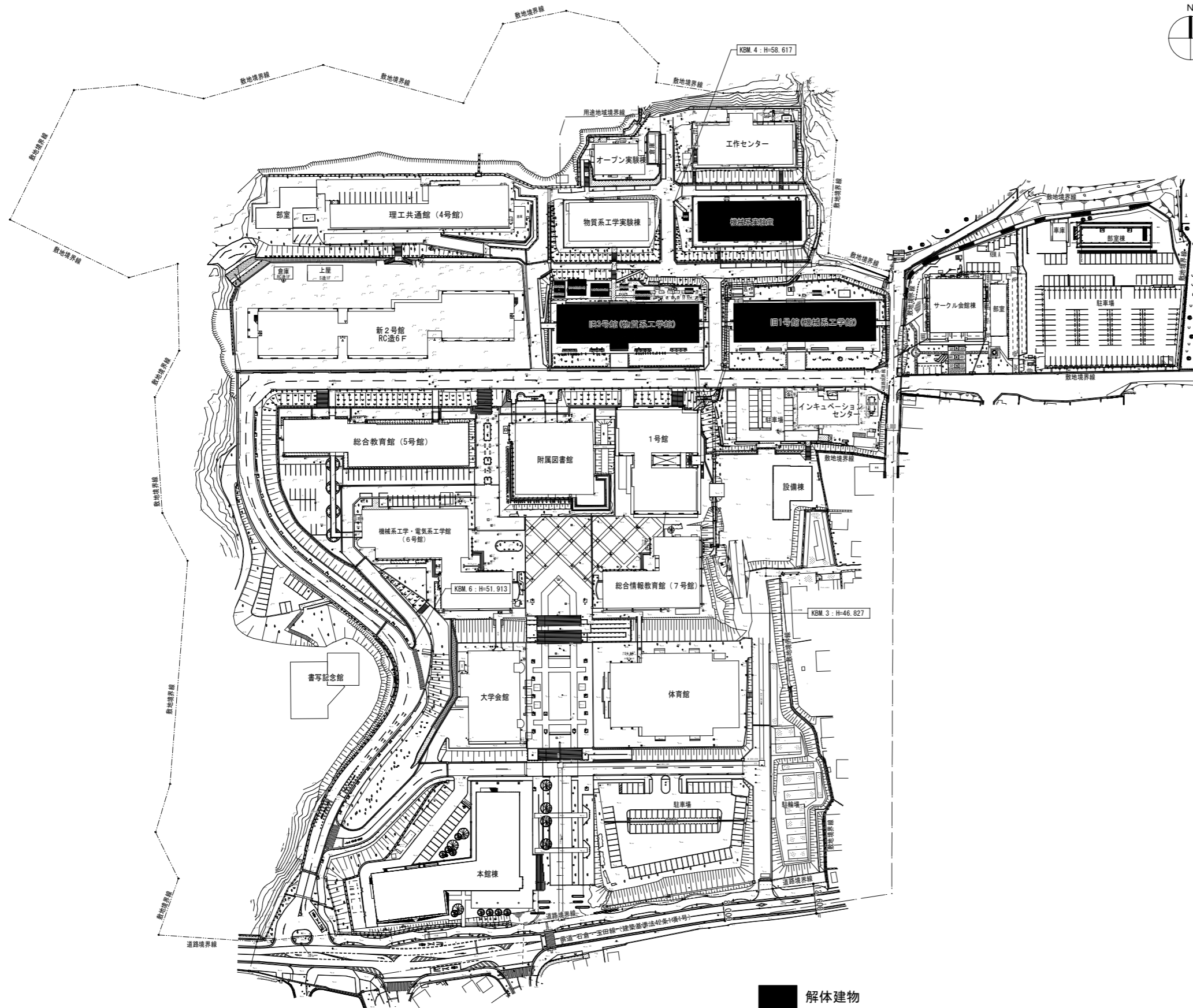
図面番号	図面名称	縮尺 (A1)
E 0 1	表紙・図面リスト	—
E 0 2	電気設備特記仕様書 (1)	—
E 0 3	電気設備特記仕様書 (2)	—
E 0 4	全体配置図・付近見取図	1 : 1 0 0 0
E 0 5	構内配電線路 (撤去) 平面図	1 : 2 5 0
E 0 6	構内通信線路 (撤去) 平面図	1 : 2 5 0

株式会社鷺尾建築設計事務所 〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1 TEL : 079-284-1491 FAX : 079-284-1446 WASHIO 1級建築士 大臣登録 第341179号 和田 一馬	執務責任者 和田	作図年月 R 5 . 3	附記事項 _____ _____ _____	年月 令和 8 年 5 月	縮尺 (A1) _____ (A3) _____	工事名称 県立大学姫路工学キャンパス旧1号館、旧3号館外基礎部分解体撤去業務 (電気設備)	全 E-06/ E-01 号	
	図名 表紙・図面リスト	兵庫県まちづくり部設備課						

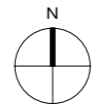
種目	項目及び特記事項
電灯設備	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
	○ 電気方式 (1) 幹線 ○ 単相3線式 100/200V 60Hz ○ 直流2線式 100V (2) 分岐回路 ○ 単相2線式 100V ○ 直流2線式 100V ○ 単相2線式 200V
	○ 照明制御装置 照明制御装置の各センサー設定は、監督職員の指示による。 センサー設定器を付属させる。
動力設備	○ 分電盤等 本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、JISC 8201-2-1「低圧開閉装置及び制御装置-第2-1部: 回路遮断器(配線用遮断器及びその他の遮断器)」及び JISC 8201-2-2「低圧開閉装置及び制御装置-第2-2部: 漏電遮断器」による。 特記なき場合、分岐に用いる2極の配線用遮断器及び漏電遮断器は、1極サイズのものとする。
	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
	○ 制御盤 ○ 単位ユニットの電流計は負荷端子の直前に接続する。 ○ 制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 ○ 低圧用進相コンデンサを取り付ける場合は、放電抵抗付コンデンサとする。
電熱設備	○ インターロック 自動火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して空調機を停止させる。
	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
	○ 雷保護システム ○ 外部雷保護システム ○ 内部雷保護システム
雷保護設備	○ 雷保護レベル ○ I ○ II ○ III ○ IV
	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
	○ 主遮断装置 ○ 限流ヒューズおよび高圧負荷開閉器(PF・S) ○ 高圧交流遮断器(CB) 定格遮断電流 ※ 12.5kA以上 ○
受変電設備	○ 変圧器の規格 変圧器の規格は次による。 ただし、スコット結線変圧器、モールド変圧器でH絶縁材料を使用するものは除く。 油入変圧器 単相 ※ JISC 4304 三相 グリーン購入法適用品 モールド変圧器 単相 ※ JISC 4306 三相 グリーン購入法適用品 ※ トップランナー変圧器(2026) ※ ダイヤル温度計を取付ける場合は最高温度計針付とする。
	○ 設備容量 ○ 変圧器総容量 kVA ○ 高圧電動機総容量 kW
	○ 盤内換気扇 公称羽根径は300mmφ(鋼製)とし、電源100Vは配電盤内用により供給する。 サーモスタット(30℃~40℃可変形とし、35℃にセット)及び切替スイッチ(自動・手動・断)を設ける。 屋内用配電盤の場合、外部換気扇連動(※ 端子 ○ スイッチ)を設ける。
電力貯蔵設備	○ 付属品等 盤内に予備限流ヒューズを収納する。
	○ その他 ○ 低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板組込形で埋込形とする。 ○ 低圧配電盤の裏面(前面保守時は前面)に負荷側引出し用端子を設ける。 ○ 低圧配電盤に内部点検空間を設ける。 ○ 主遮断装置、変圧器、低圧主回路導体にそれぞれヒートラベルを貼付する。 ○ 充電標示器は、引込ケーブルヘッドの2次側と遮断装置の間の適切な場所に設ける。 ○ 変圧器、高圧進相コンデンサ等の固定は防振支持(ストッパー付)とする。
	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
発電設備	○ 工事発電装置の種類 ○ ディーゼル発電装置 ○ ガスエンジン発電装置 ○ ガスタービン発電装置 ○ 太陽光発電装置 ○ マイクロガスタービン発電装置 ○
	○ 形式 ○ 配電盤搭載形 ○ 配電盤別置形
	○ 定格出力 ○ 発電機 kVA以上 ○ 太陽光発電パワーコンディショナ出力 kW以上
燃料	○ 燃料補給による連続運転可能時間 ※ 10時間以上 ○ 72時間以上 ○ 120時間以上 ○ 1週間以上
	○ 燃料 種類 ○ 重油(硫黄分 S=0.1wt%以下) ○ A重油 ○ 軽油 ○ 灯油 ○ 都市ガス13A 燃料小出タンク ○ 主燃料タンク (本工事 ○ 別途工事 ○ 専用 ○ 共用) ※ 燃料小出タンク及び主燃料タンクの燃料は満油引渡とする。

種目	項目及び特記事項
構内通信線路	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
	○ 形式 ○ IP-PBX ○ VoIPサーバ
	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
情報表示設備	○ 工事種類 ○ マルチサイン装置 ○ 退退表示装置 ○ 時刻表示装置
	○ 時計 ※ 特記なき時計は、SWA33-GpB2とする。 ○ 別記による。
	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
警報設備	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
	○ 増幅器 形式 ○ 卓上形 ○ ラック組込形 用途 ○ 一般放送用 ○ 非常放送用 ○ 非常業務放送兼用
	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
誘導設備	○ 工事種類 ○ 音声誘導装置 ○ インターホン (○ テレビインターホン ○ 外部受付用) ○ トイレ等呼出装置 ○ 受付呼出装置
	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
	○ アンテナ ○ UHF用 ○ BS用 ○ CS用 ○ FM用 ○ AM用 ○ CATV
テレビ共同受信設備	○ アンテナマスト ○ 壁面取付形 ○ 自立形
	○ 電界強度等 電界強度及び画質は、最上階が打上があったときに、アンテナ取付け予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。
	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
監視カメラ設備	○ 伝送方式 ○ ネットワーク伝送方式 ○ 併用方式 () ○ 同軸伝送方式
	○ 動体検知機能・検知後の機能 動体検知機能 ○ あり (※ 機能及び機能を有する機器は別記による) ○ なし 検知後の機能 ○ あり (※ 機能は別記による) ○ なし
	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
駐車管理設備	○ 車両検出方式 ○ ループコイル式 ○ 光電式 ○
	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
	○ 工事種類 ○ 機械警備用配管 ○ 防犯装置 ○ 入退室管理制御装置
火災報知設備	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
	○ 工事種類 ○ 自動火災報知設備 ○ 自動閉鎖設備 ○ 非常警報設備 ○ ガス漏れ火災警報設備
	○ 自動火災報知装置 ○ 受信機 型 級 (○ 壁掛形 ○ 自立形) (○ 単独形 ○ 複合形) ○ 副受信機 ○ 消火ポンプの始動 ※ 消火栓箱内押ボタン ○ 発信機と連動(総合盤に始動表示を設ける) ○ 消火栓箱内のバルブ開放 (○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓)
中央監視制御設備	○ 自動閉鎖装置 予備電源(蓄電池内蔵) ○ 単独 ○ 火報受信機等と一体 ※ ダンパ等(全数)復帰用の予備電源容量をもつこと。 ○ 防火扉用 DC24V 0.6A以下 電磁式又はラッチ式 ○ 防煙ダンパ用(別途工事) 瞬時通電式DC24V 0.6A以下 電動式DC24V 0.7A以下 遠方復帰機構付き ○ 防火シャッター用(別途工事) DC24V 0.6A以下
	○ 非常警報装置 ○ 非常放送装置 ○ 非常ベル
	○ ガス漏れ火災警報装置 ○ 受信機 型 級 (○ 壁掛形 ○ 自立形) (○ 単独形 ○ 火報受信機と一体) ガスの種類 ※ 都市ガス13A ○ 液化石油ガス
構内配電線路	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
	○ 電気方式 ○ 三相3線式 (○ 6kV ○ 200V) ○ ○ 単相3線式 100/200V ○ 単相2線式 (○ 100V ○ 200V)
	○ 施工方法 線路方式 ○ 地中線路 ○ 架空線路 埋設深さ特記なきは、※ GL-300(舗装がある場合は舗装下面) ○ GL- 電柱 ○ 遠心力プレストレストコンクリートポール

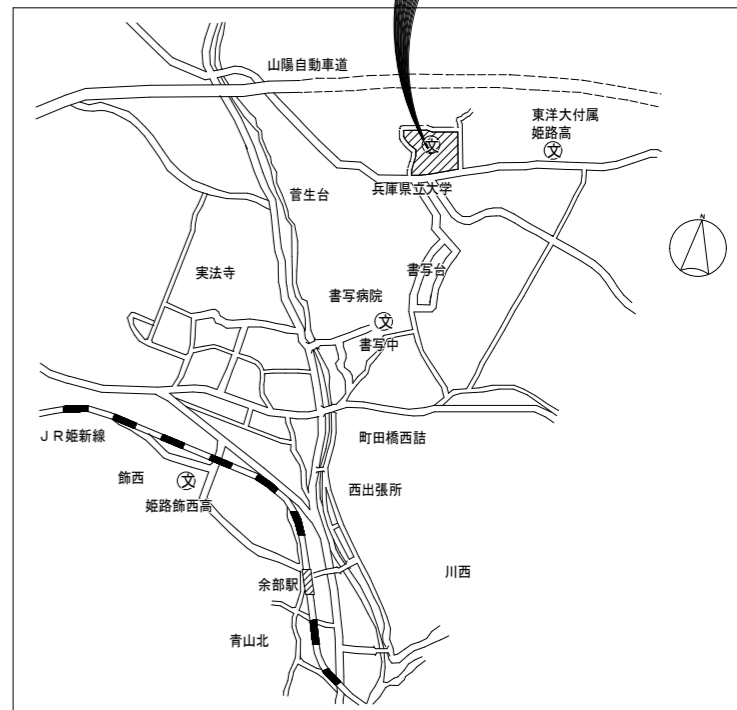
種目	項目及び特記事項
構内配電線路・構内通信線路	○ 区分開閉器 高圧負荷開閉器 定格電圧: 7.2kV 定格電流: ○ 200A ※ 300A ○ 400A 用途 ○ 架空引込用 ○ 地中引込用 構造 ○ 耐中塩じん用 ※ 耐重塩じん用 JISC 4605:2020 形式 ○ 引外し装置付(SOG形) ○ 引外し装置なし ○ 避雷器内蔵 ○ 制御電源用変圧器内蔵 ○ 方向性保護機能あり
	○ マンホール及びハンドホール 構造、寸法は ※ 標準図による。 ○ 図示による。 蓋の用途表示は ※ 「電力」又は「通信」 ○ ○ ハンドホールの壁にケーブル支持材を設ける。 蓋の盗難防止のために鎖を取付ける。 敷地外に設置する蓋には、異き章を表示する。
	○ 高圧ケーブル・がいし 高圧ケーブルの種類 ※ 6600V架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(3層押出型)とする。 (EM 6600V CET (EE)又はEM 6600V CE (EE)) 屋外高圧ケーブルのがいし・端未処理 ※ 一般用 ○ 重耐用 JCAA C 3101 ※ 高圧ケーブル相互の接続又は端未処理を行う場合は、被覆の収縮対策(シュリンクバック現象対策)を施す。 対策の方法 (○ 電気設備工事監理指針(令和7年版)第2編2.10.4.2による ○) 高圧ケーブルの余長 ※ マンホール・ハンドホール又はキュービクル内等の1箇所以上で約3mの余長を確保する。
医療関係設備	○ 避雷器 ○ 一般屋外用 ○ 耐塩用 ○ 2.5kA ○ 5kA
	○ 支柱材 ○ 一般屋外用 ○ 耐塩用
	○ 外灯 基礎 ※ 本工事 ○ 別途工事 ○ 鋼製屋外灯ポールは溶融亜鉛めっきとし、指定色塗装とする。 ○ 照明用ポールに防水形配線用遮断器等を設ける。
撤去・改修工事	○ 工事範囲 ○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 取外し・再取付
	○ 施工方法 ○ 非接地電源用分電盤 ○ 呼出装置
	○ ナースコール設備 ○ 基本形ナースコール装置 ○ 情報表示形ナースコール装置 ○ 携帯形ナースコール装置 ○ 病床ユニット ○ オプション等の試験 (○ 全数試験 ○ 監督員の指示による)
その他	● 撤去工事 撤去後の補修は、原則として原状復旧とする。
	○ 養生・清掃 施工上必要な場合は、監督職員、施設管理者等と協議のうえ、改修仕様書第1編第1章第7節に基づき、適切に養生・清掃を行うこと。
	○ 再使用機器 取外した上 再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定のうち取付ける。なお照明器具の見えがかり部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃を行うこと。 ○ 撤去・再取付機器の機能確認 再取付を行う機器は、撤去前に機能確認を行い、不具合があれば必ず監督職員に報告すること。 また、再取付についても機能確認を行い、その結果を試験成績表にまとめること。 ○ 再使用する配線の確認 再使用する配線は、撤去前に絶縁抵抗測定等の確認を行い、不具合があれば必ず監督職員に報告すること。 また、工事完成前においても上記と同様の確認を行い、その結果を試験成績表にまとめること。 ○ 照明改修工事 対象室の改修前後の照度測定を行うものとし、測定箇所及び回数は監督職員との協議による。
機器の特記なき標準高さは下記による。	
電力共通	名称 測点 取付高(mm) 名称 測点 取付高(mm)
電灯	引込用計器 地上~窓中心 1,800~2,000 表示盤 床上~中心 2,300
	引込開閉器 床上~中心 1,800~2,200 壁付発信器 床上~中心 1,300
	分電盤 床上~中心 1,500 (上端1,900以下) 表示 壁掛形時計 床上~中心 2,300
	スイッチ (身障者用) 床上~中心 1,300 拡声 壁付アツチネータ 床上~中心 1,300
	(自動扉用) 床上~中心 1,800
	(人感センサー用) 床上~中心 1,800
	コンセント(一般) 床上~中心 300 誘導 壁付インターホン(身障者) 床上~中心 1,100
	(和室) 床上~中心 150 支 壁付押ボタン(一般) 床上~中心 1,300
	(台上) 床上~中心 150~300 援 (身障者便所) 床上~中心 900以下
	(機械室・車庫) 床上~中心 500~1,300 呼出し 壁付インターホン(一般) 床上~中心 1,300
ブラケット(一般) 床上~中心 2,100~2,300 壁付アウトレット(一般) 床上~中心 1,300	
(踊場) 床上~中心 2,000~2,500 壁付アウトレット(和室) 床上~中心 150	
テレビ 鏡上端~下端 50 機器収納箱(一般) 天井下~上端 200	
壁掛形制御盤 床上~中心 1,500 (上端1,900以下) テレビ端子(一般) 床上~中心 300	
動力 手元開閉器 床上~中心 1,500 共同受信 壁付端子(和室) 床上~中心 150	
端子盤(室内) 床上~下端 300 受信機・副受信機 床上~中心 800~1,500	
集合保安器箱 天井下~上端 200 機器収納箱 床上~中心 800~1,500	
壁付アウトレット(一般) 床上~中心 300又は1,300 発信機 床上~中心 800~1,500	
バル 床上~中心 2,300	
表示灯 床上~中心 2,100	
液化石油ガス用検知器 床上~上端 300	
工事名称 県立大学姫路工学キャンパス旧1号館、旧3号館外基礎部分解体撤去業務(電気設備)	作 図 令和 8 年 5 月 図面番号
図面名称 電気設備工事 特記仕様書(2)	全 6 枚
兵庫 県 まちづくり 部 設 備 課	E- 3 号



全体配置図

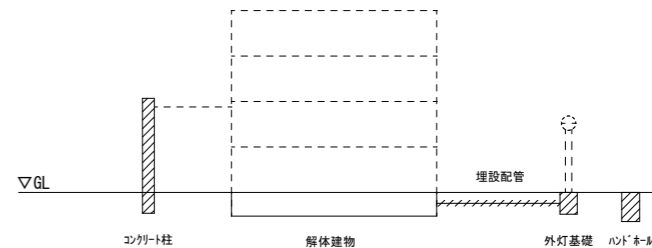


工事場所：県立大学姫路工学キャンパス
所在地：姫路市書写字西ノ口2167番



付近見取図

- 本工事の撤去範囲は下記とする。
- ・構内コンクリート柱
 - ・埋設配管（配線は撤去済み）
 - ・外灯基礎（灯具、ポールは撤去済み）
 - ・ハンドホール（配線は撤去済み）



撤去範囲概念図

※本工事における掘削範囲内に、既設活線埋設配管がないか十分に確認を行うこと。
特に機械系工学館（1号館）東側には電力・通信線が埋設されているので注意のこと。
※電柱支柱にあたっては、架空線に使用中の配線がないか十分に確認を行うこと。

株式会社鷺尾建築設計事務所

〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL: 079-284-1491
FAX: 079-284-1446
WABIO 1級建築士 大匠登録 第341179号 和田 一馬

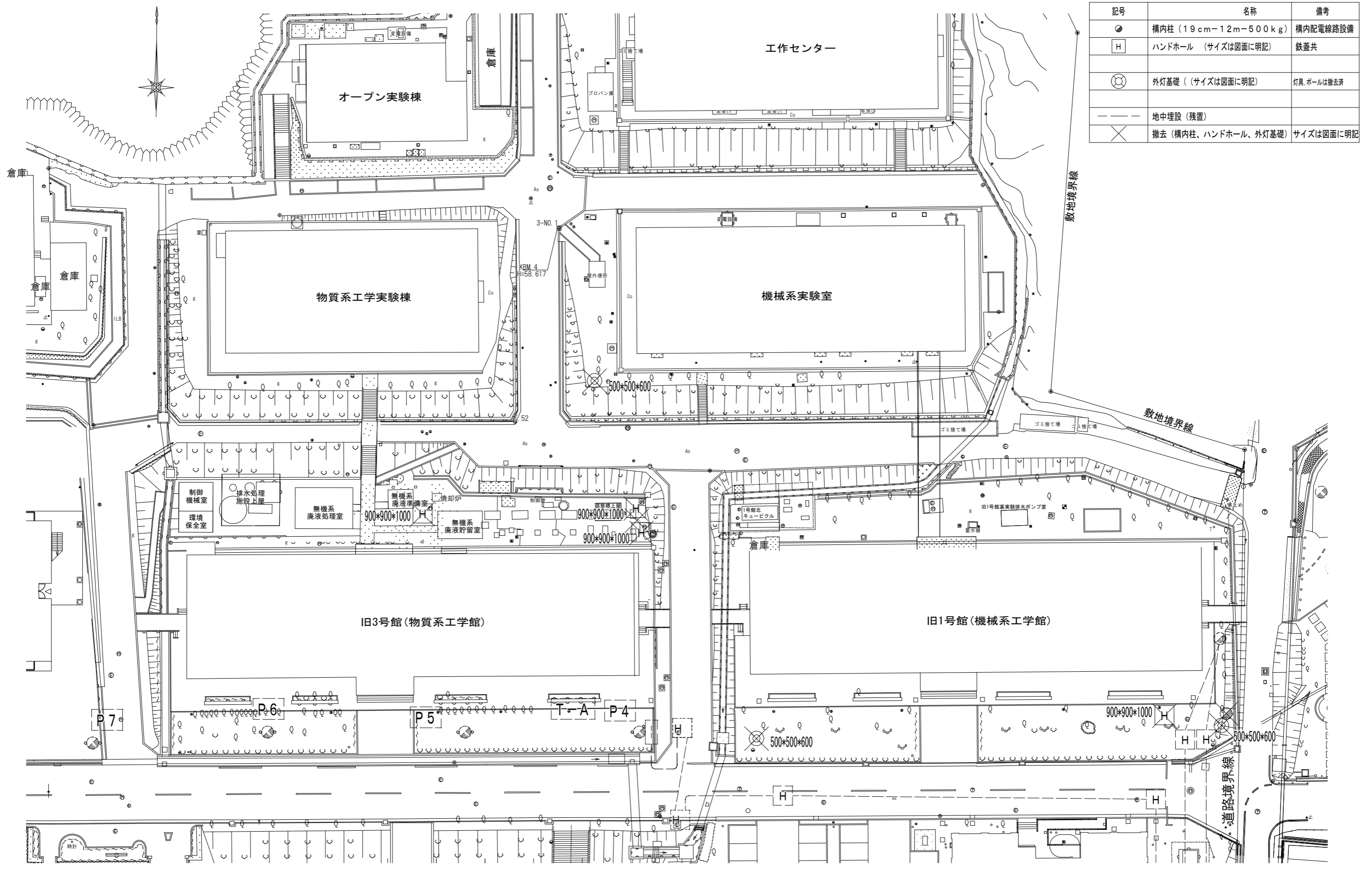
統括責任者	和田	作図年月	2019.3	附記事項	
調査	折野				
担当	和田				

縮尺	(A1) 1:1000 (A3) 1:2000	工事名称	県立大学姫路工学キャンパス旧1号館、旧3号館外基礎部分解体撤去業務 (電気設備)
図名	全体配置図・付近見取図	図名	全体配置図・付近見取図
兵庫県まちづくり部設備課			

全 E-06 / E-04 号

凡例

記号	名称	備考
●	構内柱 (19cm-12m-500kg)	構内配電線路設備
H	ハンドホール (サイズは図面に明記)	鉄蓋共
⊙	外灯基礎 (サイズは図面に明記)	灯具、ポールは撤去済
---	地中埋設 (残置)	
×	撤去 (構内柱、ハンドホール、外灯基礎)	サイズは図面に明記



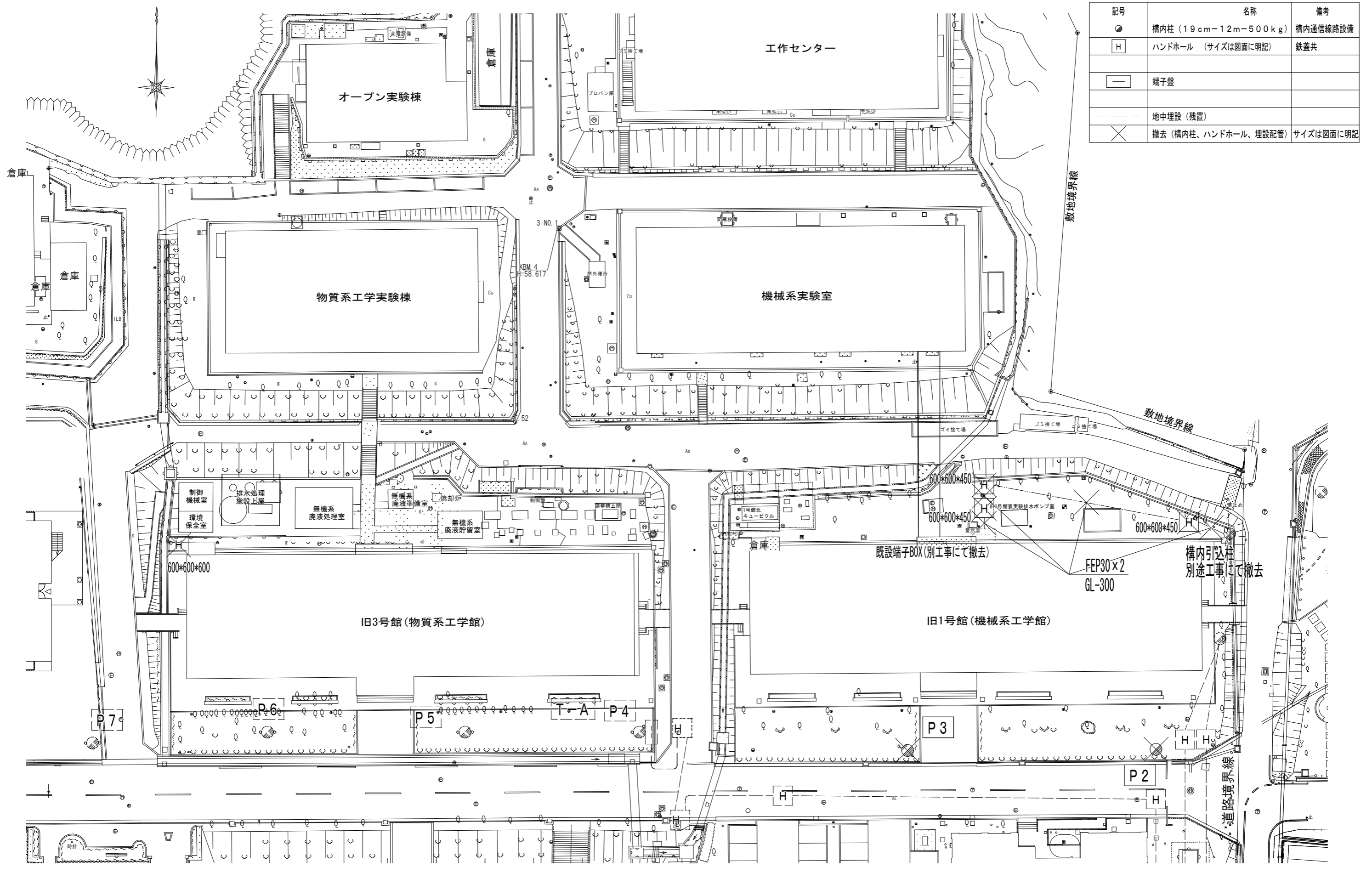
株式会社鷺尾建築設計事務所
 〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
 TEL: 079-284-1491
 FAX: 079-284-1446
 WASHIO 1級建築士 大匠登録 第341179号 和田 一馬

執務責任者	和田	作図年月	2015.3	附記事項	
調査	折野				
担当	和田				

縮尺	(A1) 1:250 (A3) 1:500	工事名称	県立大学姫路工学キャンパス旧1号館、旧3号館外基礎部分解体撤去業務 (電気設備)
図名	構内配電線路 (撤去) 平面図		

凡例

記号	名称	備考
●	構内柱 (19cm-12m-500kg)	構内通信線路設備
H	ハンドホール (サイズは図面に明記)	鉄蓋共
□	端子盤	
---	地中埋設 (残置)	
×	撤去 (構内柱、ハンドホール、埋設配管)	サイズは図面に明記



株式会社鷺尾建築設計事務所
 〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
 TEL: 079-284-1491
 FAX: 079-284-1446
 WASHIO 1級建築士 大匠登録 第341179号 和田 一馬

執務責任者	和田	作図年月	2015.3	附記事項	
副査	折野				
担当	和田				

縮尺 (A1) 1:250
 (A3) 1:500


工事名称 県立大学姫路工学キャンパス旧1号館、旧3号館外基礎部分解体撤去業務 (電気設備)
 図名 構内配通信線路 (撤去) 平面図

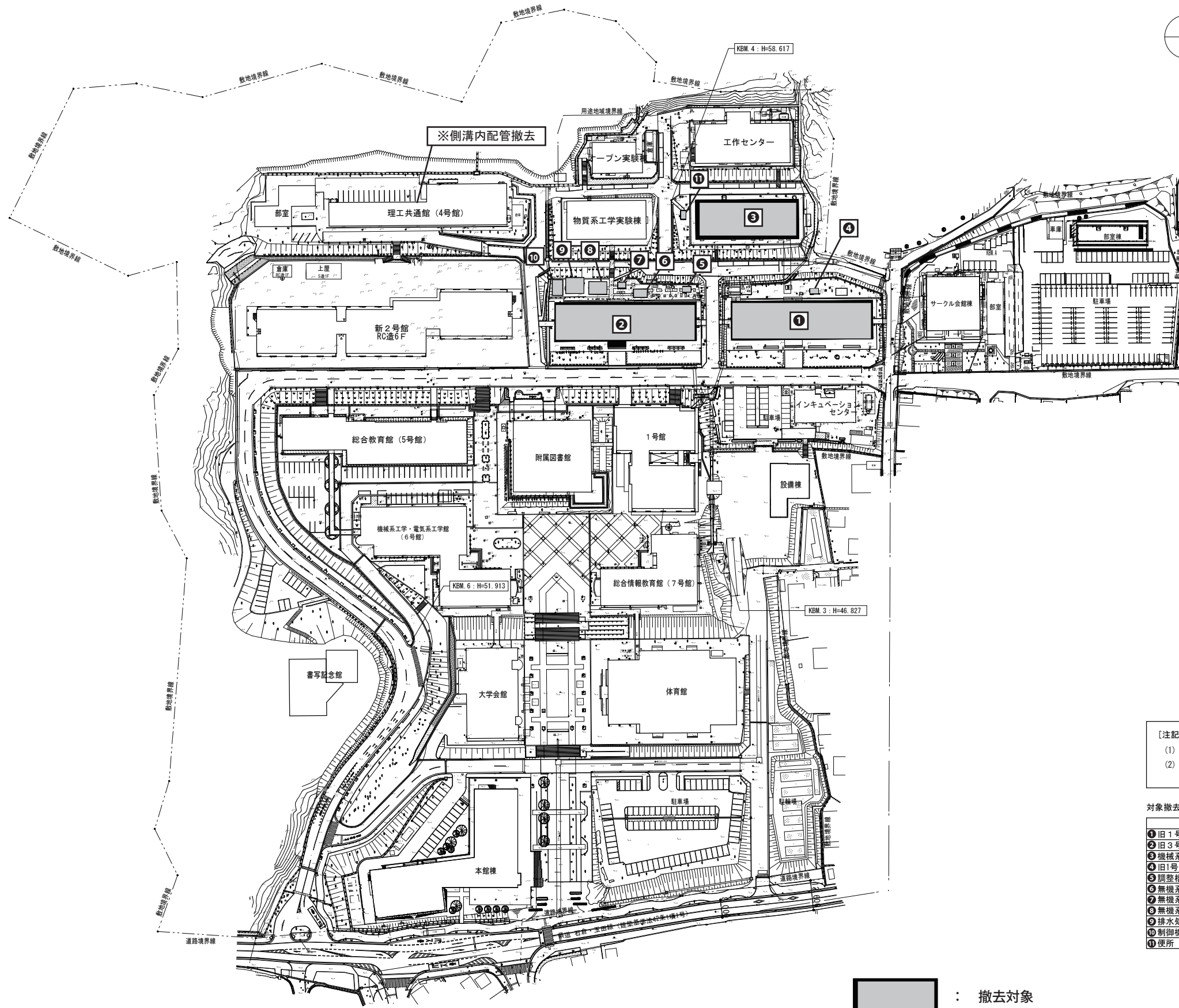
兵庫県まちづくり部設備課

全 E-06
 E-06
 号

県立大学姫路工学キャンパス旧1号館、旧3号館外基礎部分解体撤去業務 (機械設備)

図面番号	図面名称	縮尺(A3)
M - 01	表紙・図面リスト	—
M - 02	機械設備工事特記仕様書(1)	—
M - 03	機械設備工事特記仕様書(2)	—
M - 04	全体配置図、付近見取図	1:2000
M - 05	機械設備 配置図(1)	1:300
M - 06	機械設備 配置図(2)	1:300
M - 07	機械設備 配置図(3)	1:300
M - 08	機械設備 配置図(4)	1:300
M - 09	機械設備 配置図(5)	1:300

 株式会社 鷺尾建築設計事務所 〒672-8040 姫路市東区野田町157-1 TEL: 079-284-1481 FAX: 079-284-1446 1級建築士 大塚 登保 室341179号 和田 一馬	工事名称 県立大学姫路工学キャンパス旧1号館、旧3号館外基礎部分解体撤去業務 (機械設備)	作図 令和5年3月	M -
	図面名称 表紙・図面リスト	縮尺 A3: -	01
管理責任者 和田	照査 折野	統括責任者 和田	担当 玉里
兵庫県まちづくり部設備課			全 09



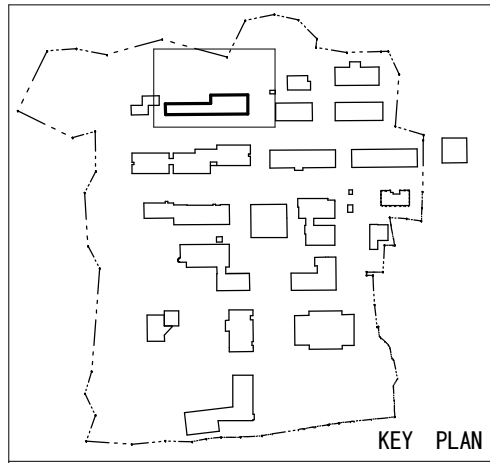
付近見取図

【注記】
 (1) 本工事の撤去範囲は、各撤去図による。
 (2) 建物(上部)は全て解体済みであり、本工事では建物基礎を含む下部の解体が対象範囲である。

建 物 名	構 造	建築面積 (m ²)
①旧1号館	鉄筋コンクリート造基礎等	1173.04
②旧3号館	鉄筋コンクリート造基礎等	1112.70
③機械系実験室	鉄筋コンクリート造基礎等	842.40
④旧1号館裏実験棟水ポンプ室	鉄筋コンクリート造基礎等	6.93
⑤調整槽上屋	鉄筋コンクリート造基礎等	9.88
⑥無機系廃液貯留室	鉄筋コンクリート造基礎等	20.14
⑦無機系廃液準備室	鉄筋コンクリート造基礎等	9.72
⑧無機系廃液処理室	鉄筋コンクリート造基礎等	47.14
⑨排水処理施設上屋	鉄筋コンクリート造基礎等	61.42
⑩制御機械室・環境保全室	鉄筋コンクリート造基礎等	33.60
⑪便所	鉄筋コンクリート造基礎等	5.06

■ : 撤去対象

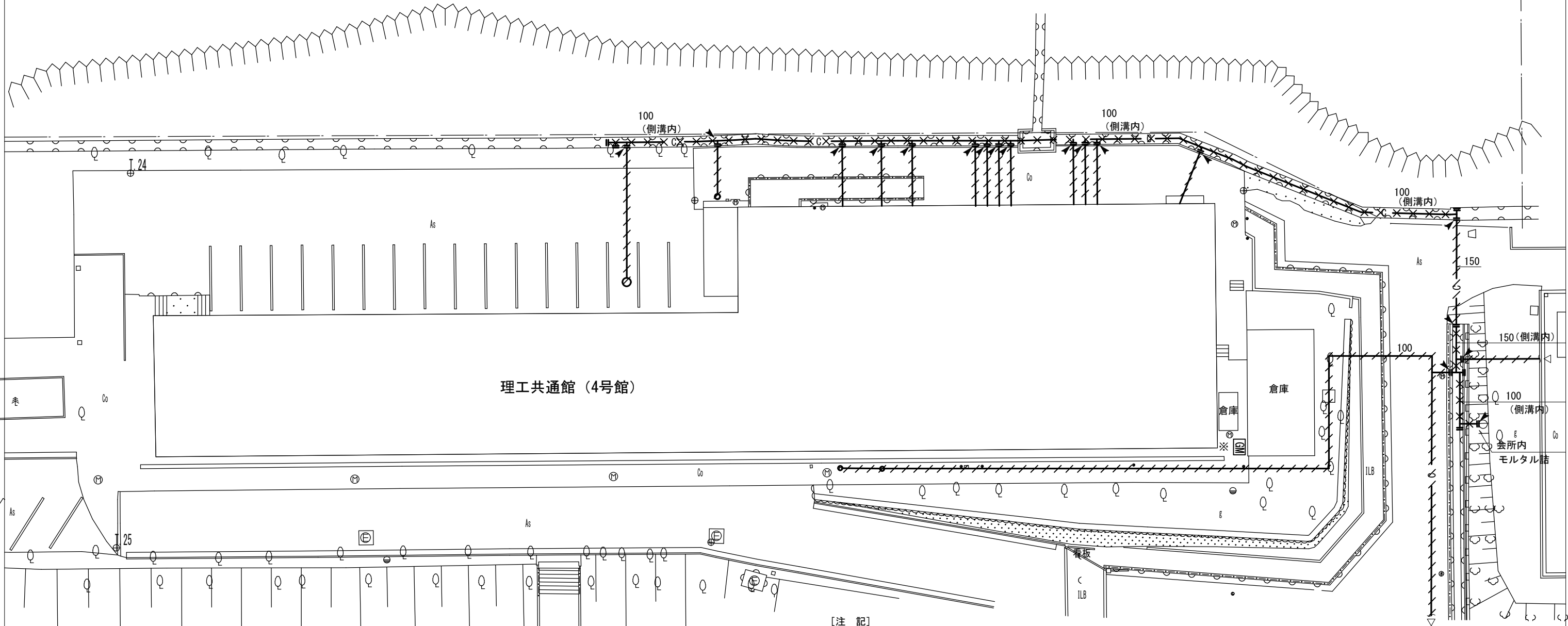
全体配置図 1:2000



凡 例		
記 号	名 称	仕 様
×××	撤去を示す	
////	放棄を示す	
---	既設を示す	残置
◀	切断	プラグ・キャップ止
▨	掘削	アスファルト舗装 解体復旧本工事
■	撤去建物	上部（建物）解体済み

・特記なき配管は下記による

---	給水	SGP-VA	—C—	実験排水	VP
●---	揚水	SGP-VA	—X—	消火	GP
---	一般排水	CIP	—G—	ガス	GP

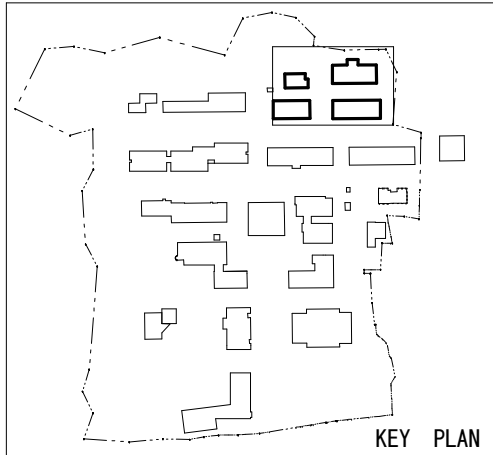


【注 記】

- ・他の建物への給水・揚水・排水管・その他配管は既設ルートを調査の上、必要に応じて迂回のこと
- ・地中埋設配管撤去など本工事にかかる掘削、埋め戻しは本工事とする
- ・ガス配管切断、撤去前はガスパーズ等の安全措置を適切に行い安全確保の上作業のこと

※ガス系統切離し後、物質系実験棟及び4号館の元バルブを閉止し「未使用」表示のこと

株式会社 鷺尾建築設計事務所 〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1 TEL: 079-284-1481 FAX: 079-284-1446 1級建築士 大塚昌徳 第34179号 和田 一馬				工事名称 県立大学姫路工学キャンパス旧1号館、旧3号館外基礎部分解体撤去業務 (機械設備)	作図 令和5年3月	M - 05 A3 : 1:300 全 09
管理責任者 和田	照査 折野	統括責任者 和田	担当 玉里	図面名称 機械設備 配置図(1)	兵庫県まちづくり部設備課	



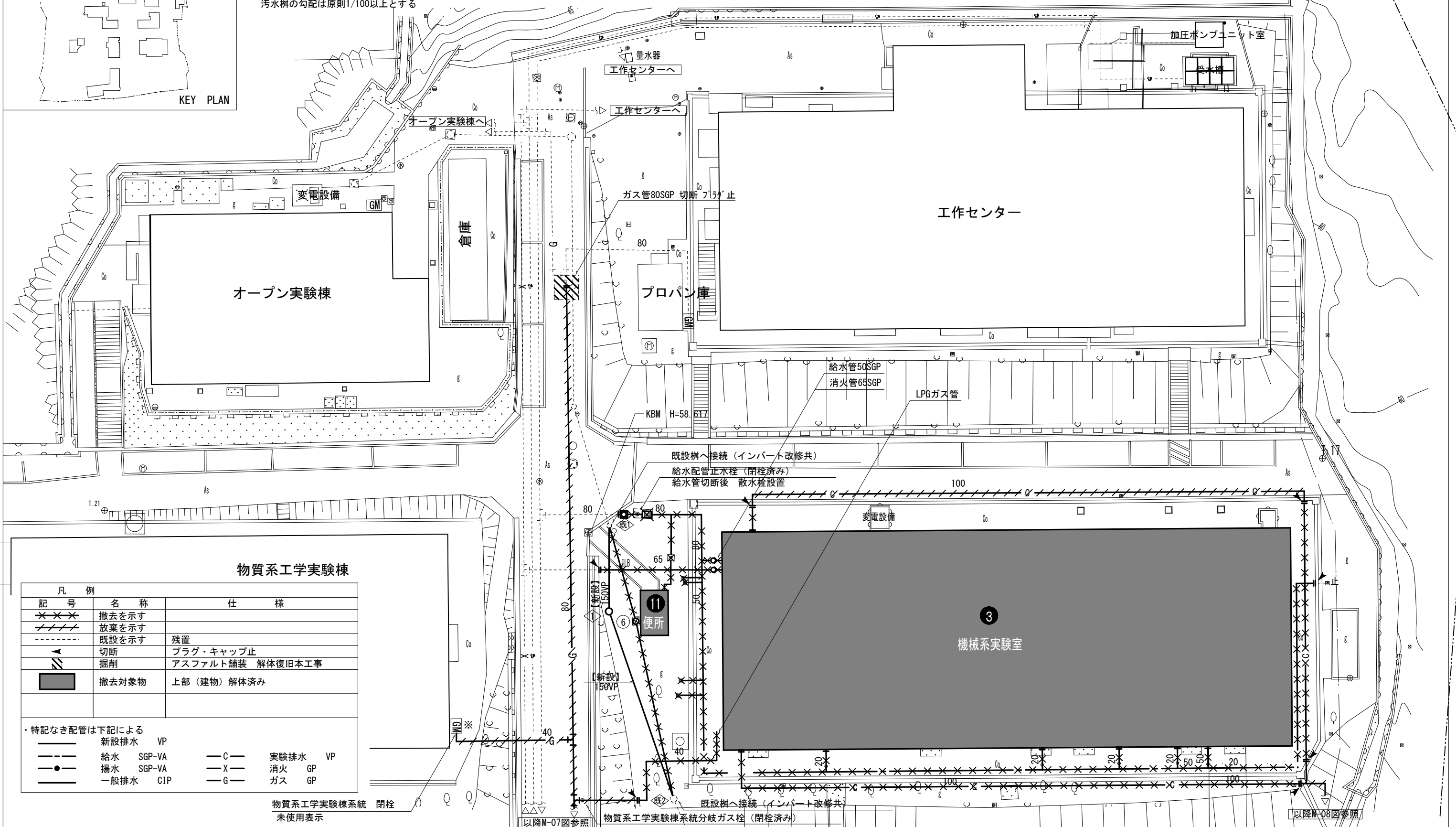
会所リスト ・地盤高、計画GL、会所深さは参考とし現場にて調整する事 KBM H=58.617 計画GL 現況

記号	名称	形状・寸法	計画GL	GL±0	地盤高	蓋・マンホール
		形状 主管・径樹径	からの管底	からの管底		
新設 本工事 ①	塩ビ製小口径樹 (インパート樹)	45L 150φ-200	450	450	58.10	鑄鉄製防護蓋 T-14 SUSフェン付内蓋共
既設 ①	汚水樹 (インパート樹)	450×450	400	400	58.60	インパート改修
既設 ②	汚水樹 (インパート樹)	600×900	2000	2000	58.00	インパート改修

汚水樹の勾配は原則1/100以上とする

【注 記】

- ・他の建物への給水・揚水・排水管・その他配管は既設ルートを確認の上、必要に応じて迂回のこと
- ・地中埋設配管撤去など本工事にかかる掘削、埋戻しは本工事とする
- ・ガス配管切断、撤去前はガスバージ等の安全措施を適切に行い安全確保の上作業のこと
- ※ガス系統分離後、物質系実験棟及び4号館の元バルブを閉止し「未使用」表示のこと



物質系工学実験棟

凡 例		
記 号	名 称	仕 様
✕✕✕	撤去を示す	
////	放棄を示す	
---	既設を示す	残置
▲	切断	プラグ・キャップ止
///	掘削	アスファルト舗装 解体復旧本工事
■	撤去対象物	上部(建物)解体済み

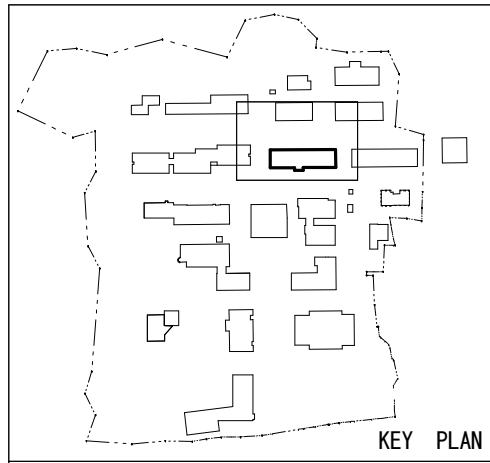
・特記なき配管は下記による

—	新設排水	VP	—C—	実験排水	VP
—	給水	SGP-VA	—X—	消火	GP
—●—	揚水	SGP-VA	—G—	ガス	GP
—	一般排水	CIP			

物質系工学実験棟系統 閉栓
未使用表示

物質系工学実験棟系統分岐ガス栓 (閉栓済み)

株式会社 鷺尾建築設計事務所 〒672-8040 姫路市動物園区野田町157-1 TEL: 079-284-1491 FAX: 079-284-1446 1 級建築士 大臣登録 第34117号 和田 一馬	工事名称 県立大学姫路工学キャンパス旧1号館、旧3号館外基礎部分解体撤去業務 (機械設備)	作図 令和5年3月	M-
管理責任者 和田 一馬 折野 和 玉里	図面名称 機械設備 配置図(2)	縮尺 A3: 1:300	06
兵庫県まちづくり部設備課			全 09



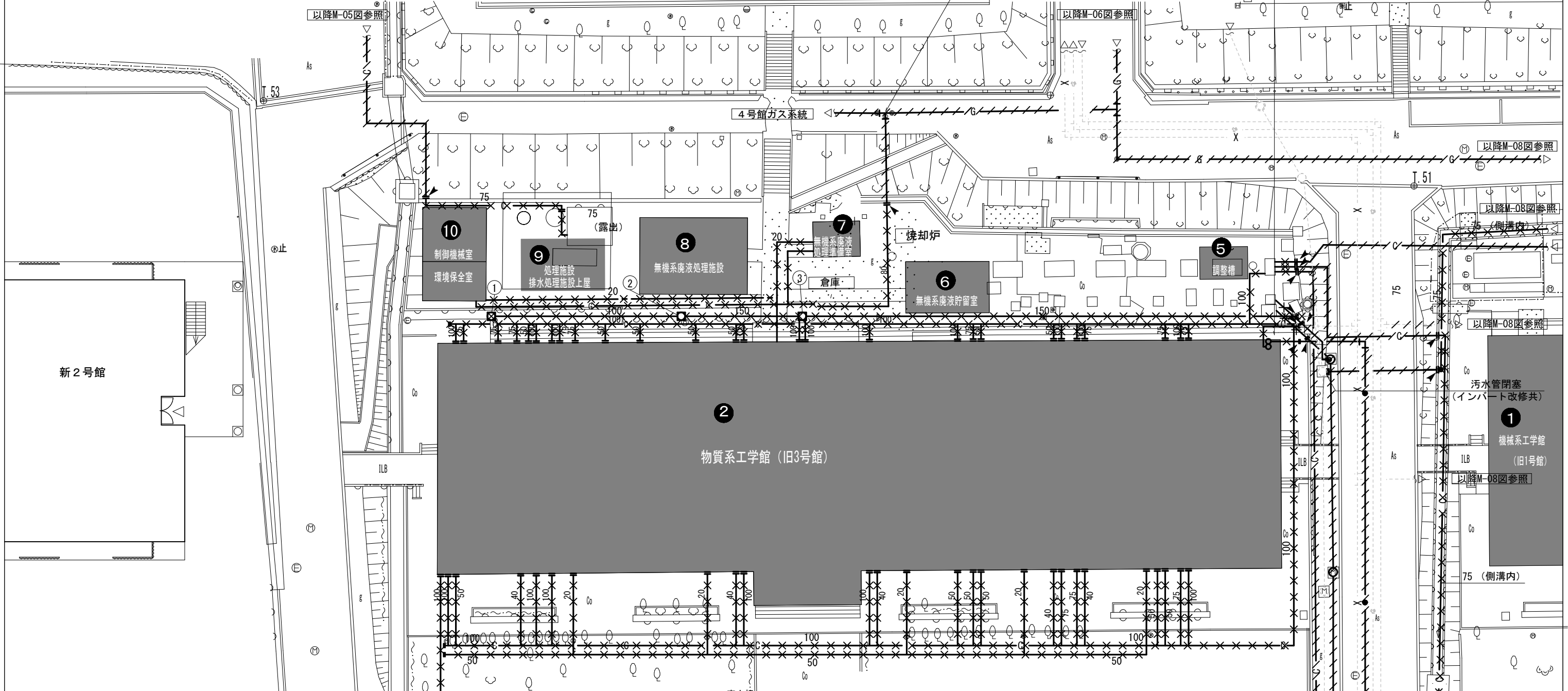
凡 例		
記 号	名 称	仕 様
✕✕✕	撤去を示す	
////	放棄を示す	
---	既設を示す	残置
▲	切断	プラグ・キャップ止
///	掘削	アスファルト舗装 解体復旧本工事
■	撤去対象物	上部(建物)解体済み

・特記なき配管は下記による

---	給水	SGP-VA	—C—	実験排水	VP
—●—	揚水	SGP-VA	—X—	消火	GP
---	一般排水	CIP	—G—	ガス	GP

撤去会所リスト ・ 樹深さは参考とし現場にて調整する事

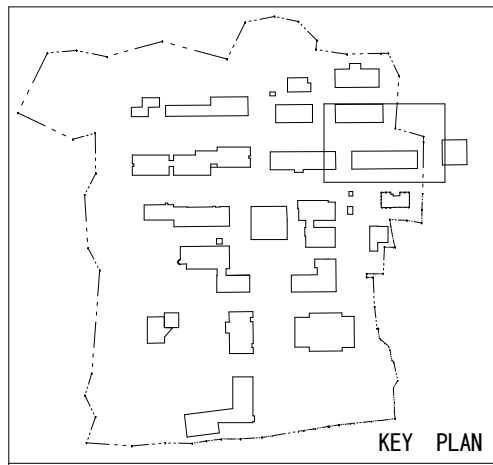
記 号	名称(記載図面番号)	形状・寸法	深 さ	蓋・マンホール
①	汚水樹(M-07)	600×600	450	铸铁蓋
②	汚水樹(M-07)	600×600	600	铸铁蓋
③	汚水樹(M-07)	600×600	700	铸铁蓋
④	汚水樹(M-08)	450×450	450	铸铁蓋
⑤	汚水樹(M-08)	450×450	470	铸铁蓋
⑥	汚水樹(M-06)	450×450	450	铸铁蓋



【注 記】

- ・他の建物への給水・揚水・排水管・その他配管は既設ルートを確認の上、必要に応じて迂回すること
- ・地中埋設配管撤去など本工事にかかる掘削、埋め戻しは本工事とする
- ・ガス配管切断、撤去前はガスパーズ等の安全措置を適切に行い安全確保の上作業のこと
- ※ガス系統切離し後、物質系実験棟及び4号館の元バルブを閉止し「未使用」表示のこと

株式会社 鷺尾建築設計事務所 〒672-8040 姫路市飾通区野田町157-1 TEL: 079-284-1481 FAX: 079-284-1446 1級建築士 大谷 登保 第41179号 和田 一馬	工事名称 県立大学姫路工学キャンパス旧1号館、旧3号館外基礎部分解体撤去業務 (機械設備)	作図 令和5年3月
	管理責任者 照 査 統括責任者 担 当 和田 折野 和田 玉里	図面名称 機械設備 配置図(3)
兵庫県まちづくり部設備課		M - 07 全 09



KEY PLAN



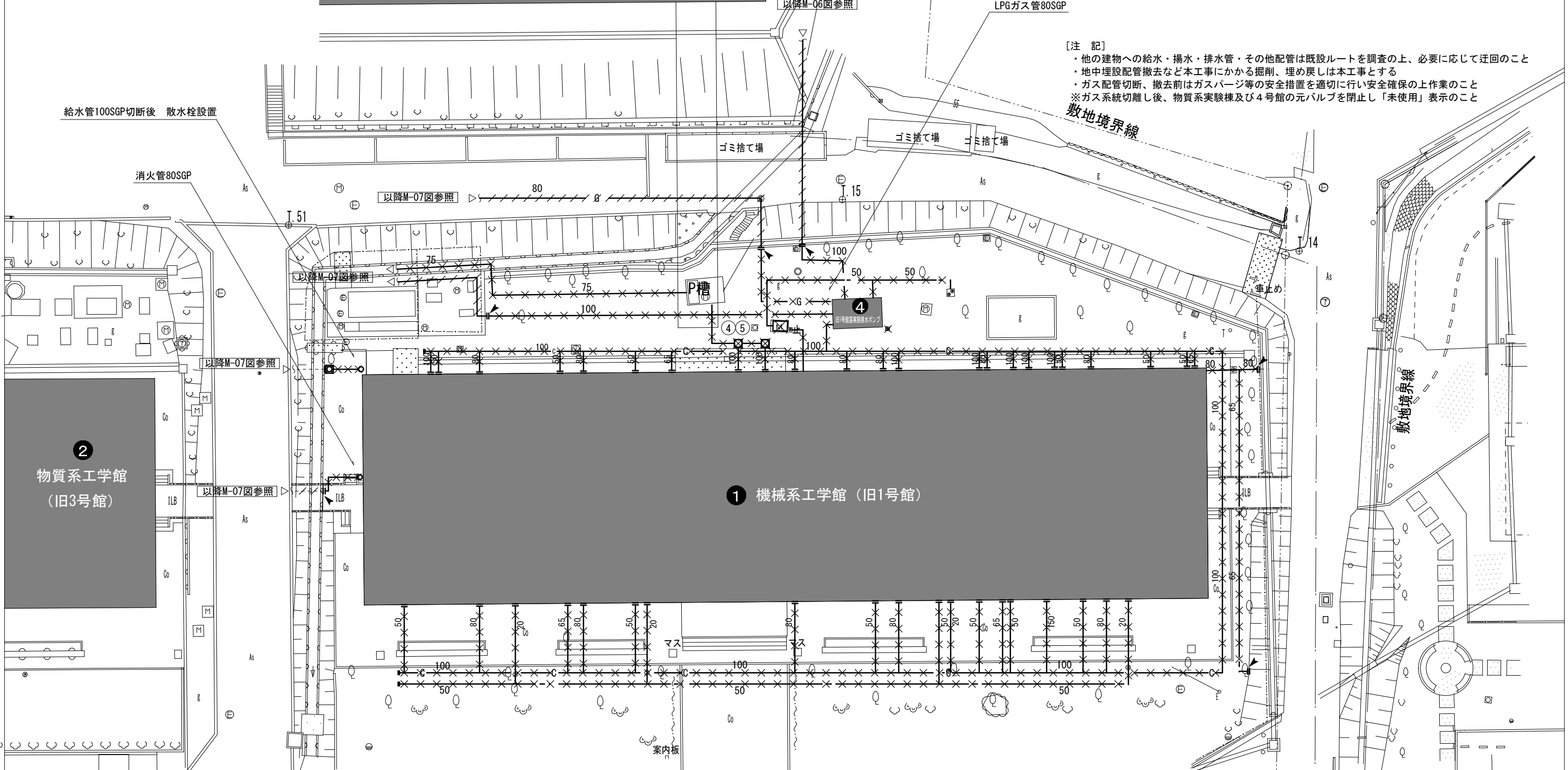
3 機械系実験室

凡例		
記号	名称	仕様
×××	撤去を示す	
////	放棄を示す	
---	既設を示す	残置
▲	切断	プラグ・キャップ止
⚡	掘削	アスファルト舗装 解体復旧本工事
■	撤去対象物	上部(建物)解体済み
○	別途工事を示す	

・特記なき配管は下記による

---	給水	SGP-VA	—C—	実験排水	VP
●—	揚水	SGP-VA	—X—	消火	GP
—	一般排水	CIP	—G—	ガス	GP

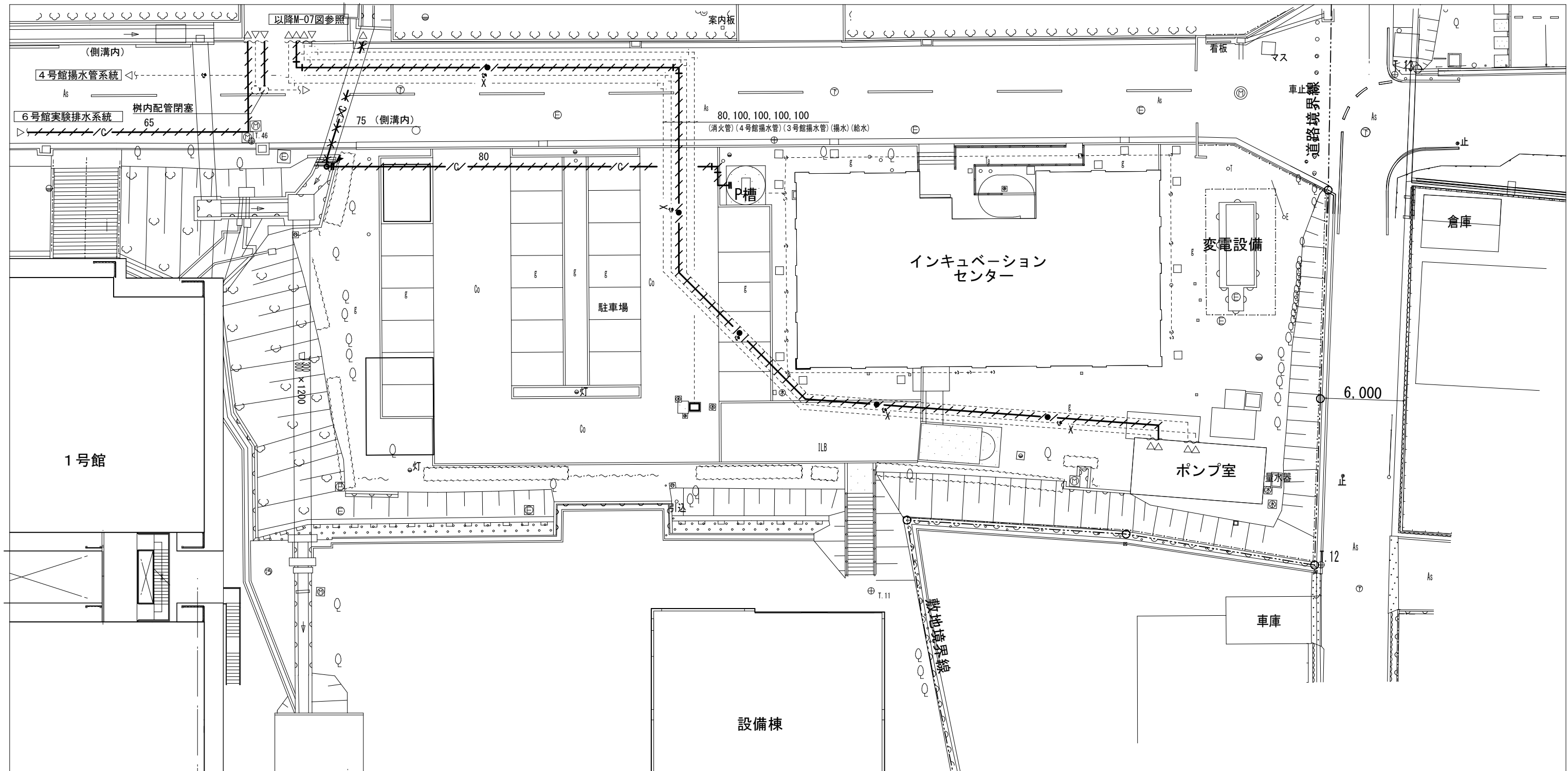
[注記]
 ・他の建物への給水・揚水・排水管・その他配管は既設ルートを調査の上、必要に応じて迂回のこと
 ・地中埋設配管撤去など本工事にかかる掘削、埋め戻しは本工事とする
 ・ガス配管切断、撤去前はガスパージ等の安全措施を適切に行い安全確保の上作業のこと
 ※ガス系統切離し後、物質系実験棟及び4号館の元バルブを閉止し「未使用」表示のこと



株式会社 鷺尾建築設計事務所
 〒617-8040 近畿市舞鶴区野田町157-1
 TEL: 079-284-1481 FAX: 079-284-1446
 1級建築士 大谷 登保 室長 179号 和田 一馬
 管理責任者 照査 統括責任者 担当
 和田 折野 和田 玉里

工事名称 県立大学姫路工学キャンパス旧1号館、旧3号館外基礎部分解体撤去業務 (機械設備)
 図面名称 機械設備 配置図(4)
 兵庫県まちづくり部設備課

作図 令和5年3月 M-
 縮尺 08
 A3: 1:300
 全 09



[注記]
 ・他の建物への給水・揚水・排水管・その他配管は既設ルートを調査の上、必要に応じて迂回のこと
 ・地中埋設配管撤去など本工事にかかる掘削、埋め戻しは本工事とする
 ・ガス配管切断、撤去前はガスパーズ等の安全措施を適切に行い安全確保の上作業のこと
 ※ガス系統切離し後、物質系実験棟及び4号館の元バルブを閉止し「未使用」表示のこと

記号	名称	仕様
XXX	撤去を示す	
////	放棄を示す	
---	既設を示す	残置
▲	切断	プラグ・キャップ止
///	掘削	アスファルト舗装 解体復旧本工事
■	撤去対象物	上部(建物)解体済み

・特記なき配管は下記による

---	給水	SGP-VA	—C—	実験排水	VP
—●—	揚水	SGP-VA	—X—	消火	GP
—	一般排水	CIP	—G—	ガス	GP

